

平成 23 年度 第 2 回理事会 議事録

- I. 会議名 : (社)日本地すべり学会 平成 23 年度第 2 回理事会
 II. 開催日時 : 平成 23 年 8 月 30 日(火) 14 時 00 分～16 時 30 分
 III. 開催場所 : 静岡市駿河区馬淵 1-17-1 「あざれあ」 第 3 会議室
 IV. 出席者 : 理事出席○ 26 名, 理事書面議決△ 5 名, 理事欠席 3 名 (計 34 名)
 : 監事出席○ 1 名, 監事欠席 1 名 (計 2 名)

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
理事	鵜飼 恵三	○	理事	末峯 章	○	理事	宮城 豊彦	
理事	檜垣 大助	○	理事	千木良雅弘	○	理事	森脇 寛	○
理事	綱木 亮介	○	理事	千葉 則行	○	理事	八木 浩司	○
理事	後藤 聡	○	理事	土屋 智	○	理事	八嶋 厚	△
理事	阿部 真郎	○	理事	寺田 秀樹	○	理事	山岸 宏光	△
理事	岩尾雄四郎	○	理事	東畑 郁生	△	理事	山崎 孝成	○
理事	岡本 正男	○	理事	日浦 啓全	○	理事	横山 俊治	△
理事	奥山 武彦	○	理事	広嶋 孝也	○	理事	吉松 弘行	○
理事	小野 慎吾	△	理事	福岡 浩	○		(理事34名)	
理事	川邊 洋	○	理事	福田 順二			(定足数23名)	
理事	宜保 清一		理事	前田 寛之	○	監事	上野 将司	
理事	佐々 恭二	○	理事	松浦 純生	○	監事	若井 明彦	○
理事	櫻井 正明	○	理事	丸井 英明	○		(監事2名)	

V. オブザーバー

総務部長	新屋 浩明	○	関東支部	落合 博貴	○	九州支部	中村 真也	○
総務部	山崎 勉	○	北海道	田近 淳	○	表彰	古谷 尊彦	○

○定足数 23 名(理事の 2/3 以上)を満たし, 理事会は成立した。

○議事録署名人として, 寺田秀樹理事と広嶋孝也理事を選出した。

<会長あいさつ>

鵜飼会長が開会あいさつを行った。

<前回議事録>

鵜飼会長より, 前回議事録に関し確認を求め, 前回議事録は承認された。

議題 I. 審議事項

I-1. 公益法人の事業内容と新定款案について(審議-1)

(1)公益法人の事業内容について

専務理事より、8/26にWeb申請が行われ、受理連絡を受けたことが報告され、公益目的事業に関し議論がなされた。

これに関し、収益事業はないので移行認定申請書類の2.(1)〔1〕4.の文章中の「収益」は変更すべき、との意見があり、「収入」に修正することになった。

審議の結果、事業内容は承認された。

(2)新定款案について

前回理事会で承認された定款案は代議員制導入に対応したものであるが、今回の移行認定に添付した定款案は、新公益法人のモデル定款に沿って第8章以降を修正したものであることが、鶴飼会長より説明された。

審議の結果、新定款案は承認された。

(3)関連事項について

公益法人に関して、次のような意見がだされた。

- ・ 会員限定は共益であり、公益法人となれば会員以外の参加も認めるべきである。
- ・ 現在の地すべり学会は、大会参加申し込みなどの手続きが面倒である。一般の方も参加しやすくする工夫（Web処理など）が必要である。
- ・ 会員限定でなくなれば、会員としてのメリットがなくなることも考慮しなければならない。
- ・ 公益法人は、学会を主対象としたものではないので、これに縛られると学会活動が悪い方向へ流れる可能性もある。
- ・ 公益法人化後の支部活動のあり方を示してほしい。

公益法人化後の公益のあり方については、今後議論する必要があることが確認された。

I-2. 平成23年度版 規則・規程・内規について(審議-2)

後藤専務理事より、規定類の整備状況が説明された。

源泉税処理内規について、講演者の源泉徴収は月1回ではないかとの指摘と、支部の事務処理を具体的に整理してほしいとの要望があり、事務局長が確認・対応することになった。

審議の結果、規定類は承認された。

I-3. 第51回研究発表会の開催地、及び第52回研究発表会大会の開催ブロックについて

川邊事業計画部長から、以下の報告がなされた。

- ①第51回大会開催地は北海道支部・札幌で、8/28～8/31とする。
- ②第52回大会開催ブロックは、規程に基づき、西日本グループとし、来年3月までにグループで協議して決定する。

I-4. 平成23年度理事会日程について(審議-3)

鶴飼会長から、今年度の理事会開催日程と、10/14理事会開催日に第1回代議員総会を開催し、公益社団法人の定款を審議することが提案され、承認された。

I-5. 平成 23 年度学会賞について

古谷委員長から、今年度の学会賞について、一般推薦がなく委員会で審議して、柴崎氏・清水氏・黒田氏の推薦を行ったこと、またその受賞理由について報告がなされ、承認された。

I-6. 役員推薦委員会委員の選出について

鵜飼会長および後藤専務理事から、委員会を立ち上げた経緯について、以下の説明がなされた。

- ・ 公益法人化後の新理事 20 名は、去年の総会で承認された。
- ・ 公益法人化が 1 年ずれたため、新理事の所属の変更や定年等の問題が発生した。
- ・ 平成 24 年 4 月 1 日から次期総会までは、去年の総会で承認された 20 名を理事とするが、総会以降は支部代表を含む理事構成とするのが望ましい。
- ・ このため、新たに役員を決定する必要があることから、委員会を立ち上げ、委員長に丸井理事に決定した。委員は 6 名で、早急に決定し、次回理事会で報告する。
- ・ 次回理事会で、これまでの役員選出の流れや定款との整合性について報告する。

審議の結果、役員推薦委員会の選出については承認された。

I-7. 入退会者状況について

後藤専務理事から、入退会者状況が報告された。主な退会者数は次のとおり。

賛助団体 4, 賛助個人 1, 団体正会員 1, 個人正会員 17, 県会員 12

入退会者の情報については、支部で把握する必要があることから、事務局から支部に報告するものとする。

議題 II. 報告事項

II-1. 河川技術開発課題の進捗について

檜垣副会長から現在の検討事項と進捗状況が報告された。このなかで、情報が十分集まっていないことから、情報提供の依頼がなされた。収集対象としている崩壊は、自然・人工地盤を問わず、10m×10m以上とする。

II-2. H22・H23 年度事業運営に関する中間評価について

鵜飼会長から、会長就任時の目標に対する自己評価報告がなされた。報告では、5 大テーマとその個別目標 14 項目について、進行中と不十分に区分された。全体の 1/3 が不十分であるが、残りの任期 1 年で充実させていくと述べられた。

これに対し、事業運営に対する評価を文書として示したことはこれまでなかったことであり、高評価できるとの意見があった。

Ⅱ-3. 各部・各支部報告

(1) 総務部

新屋部長から、8/26 に新公益法人化の電子申請を行ったことが報告された。

(2) 編集出版部

八木部長から、学会誌 48-4 特集号表題誤記載に関する報告と、再発防止対応策が報告された。主な内容は次のとおり。

- ① ホームページに会員へのお詫びを掲載した。
- ② 誤記載の 48-4 号については、再印刷して次回号に同封し、誤記載号を廃棄する。このための経費は 65 万円（再印刷 35 万円・送料 30 万円）となる。
- ③ 再発防止のため、編集委員の責任意識の向上、役割分担の確認、チェック体制の構築、に関する具体策を示す。

これらについて審議され、上記項目について承認された。

(3) 研究調査部

研究調査部は欠席。

吉松理事より、「大規模地すべり」の委員公募に、20 名の応募者があったことが報告された。

(4) 事業計画部

川邊部長から、大会準備に関する活動報告がなされた。このなかで、今後の大会目標について、参加者増を目指すのか、適切な規模で運営していくか、を議論する必要があると報告された。

(5) 国際部

福岡部長から、ICFL の巡検予定などが報告された。

(6) 北海道支部

田近支部長から、活動報告がなされた。

(7) 東北支部

檜垣支部長から、活動報告がなされた。

千葉理事から、広域災害における支部対応のあり方を検討する必要があるとの問題提起があった。

(8) 新潟支部

川邊支部長から、活動報告がなされた。

(9) 関東支部

落合支部長から、活動報告がなされた。

(10) 中部支部

土屋支部長から、活動報告と、来年 1 月に台湾小林村の海外現地視察を行う予定であることが報告された。

(11) 関西支部

末峰支部長から、活動報告がなされた。

(12)九州支部

中村支部長代理から、活動報告がなされた。

(13)北海道支部

田近支部長から、活動報告がなされた。

Ⅱ-4. その他について

(1) 第 50 回静岡大会

静岡大会の参加者は 481 名、現地見学参加者 143 名、口頭発表 92 名、ポスター発表 33 名であることが報告された。

(2) 砂防図書館への図書寄贈要請

岡本理事（砂防協会）より、砂防図書館の充実のため、支部発刊図書の寄贈依頼があった。今後、各支部に依頼文書を送付する予定との連絡があった。

(3) 地震地すべりプロジェクト

若井監事より、地震地すべりプロジェクト委員会報告書総括編の目次が示され、進捗状況が報告された。

(4) 代議員選挙

広嶼理事より、代議員選挙立候補者は、第一次推薦 72 名、第二次推薦 1 名で、計 73 名となったこと、今後のスケジュールについての報告がなされた。

以上

議 長

鶴飼 恵三

印



議事録署名人

廣嶼 孝也

印



議事録署名人

寺田 香樹

印

